

各位

## 公開ウェビナーの御案内

# ウクライナ侵攻から三ヶ月—国際秩序のゆくえ—



2022年2月24日に開始されたロシアの軍事侵略に対しウクライナが抵抗を続ける中、ウクライナ各地からは市民の犠牲が日々伝えられ、戦乱を逃れて故郷を後にする人々も絶えません。世界の多くの国々がウクライナへの支持や支援を表明しており、とりわけG7、EU、NATO及びそのメンバー諸国は、相互の連携を強化しつつ、ウクライナ支援や避難民の受け入れ、ロシアに対する制裁などを主導し、戦争の開始前には予想できなかったような政策や措置を次々に打ち出しています。

ロシアのウクライナ侵略は、冷戦終結以来の欧州における安全保障の基盤を覆すものであり、ドイツは長年の対口関係や安全保障政策を大きく変更しつつあります。中立政策を維持してきたフィンランドとスウェーデンは、自国の安全保障環境を根本的に見直し、NATO加盟を真剣に検討しています。ウクライナの主権と領土の一体性を侵害し、力による一方的な現状変更を認めないとの原則に反するロシアの軍事行動は、ルールに基づく国際秩序への重大な挑戦であり、その帰趨は欧州にとどまらず、米国が中国との体制間競争を続けるインド太平洋の安全保障を含め、全世界に影響を及ぼします。

ウクライナでの戦闘の早期終結が望まれる中、冷戦後、さらには第二次世界大戦終結以来の国際秩序をも覆しかねないロシアの軍事侵略が、開始から3か月となる時点で欧州と国際情勢に与えている影響とその見通しにつき、専門家が議論します。

### 記

- 1. 日時：** 2022年5月24日（火）18:30～20:30
- 2. 申込登録：** 参加をご希望の方は下記 URL よりお申し込みください。  
[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_WNX77\\_79Q\\_6RjWIDP4JvHw](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_WNX77_79Q_6RjWIDP4JvHw)
- 3. 形式：** ディスカッション及び質疑応答
- 4. 言語：** 日本語
- 5. 料金：** 無料
- 6. 申込締切日：** 2022年5月23日（月）＊定員になり次第終了いたします
- 7. 登壇者：**  
遠藤 乾 （東京大学教授/日本国際問題研究所客員研究員）（モデレーター）  
合六 強 （二松学舎大学准教授）  
鶴岡 路人 （慶應義塾大学准教授）  
東野 篤子 （筑波大学教授）  
神保 謙 （慶應義塾大学教授）  
＊ご登壇をお願いしておりました中山俊宏・慶應義塾大学教授/当研究所上席客員研究員が急逝されたので、登壇者が変更となりました。
- 8. 問い合わせ：** 公益財団法人 日本国際問題研究所  
担当研究員：高島亜紗子／研究助手：石塚陽子・井原弥生  
E-mail: 220524webinar@jiia.or.jp Tel:03-3503-7801